理工学研究科

教育プログラムの名称：地球共生圏科学専攻

授与する学位の名称：博士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム(地球共生圏科学専攻・博士後期課程)では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「博士」の学位を授与します。

- (1) 先端的研究の発展に貢献しようとする意欲を持ち、独自の課題を発見し、解決するための高度な専門的知識と経験を体系的に修得している。
- (2) 研究成果を得るために必要な手法を自ら組み立てながら研究を遂行していく能力を身に付けている。
- (3) 高度な専門職従事者として十分自立して活動できる能力を身に付けている。
- (4) 学会活動や共同研究において主体的に関われる能力を身に付けている。
- (5) 研究成果を公表するためのプレゼンテーションやディスカッションについての高度なコミュニケーション能力を身に付けている

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、地球共生圏科学専攻(博士後期課程)の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

- (1) 主専門分野に関連した先端的研究における高度な理論、実験法、技術等の修得を目的に、自らが策定した研究計画に従い特別演習と特別実験を行う。
- (2) 地球共生圏科学に対する視野を広め、問題提起・解決能力を養うため、主専門分野以外の領域の研究開発に携わる実習科目を行う。
- (3) 高度職業人としての資質を向上させるため、共同作業における指導力を養うことを目的とした実習科目を行う。
- (4) 専門分野における深化した知識の修得を目的に、各専門分野において体系的な講義と演習科目を行う。

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

博士後期課程では、人間の諸活動と自然環境との調和の観点に立ち、自然科学の深い基盤と学際・複合領域における高度で先端的な知識を教授し、柔軟な総合力と独創性豊かで高度な自然科学の研究能力を備えた人材を育てることを目標としています。

博士後期課程の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 理学的な基礎学力を有し、自然の真理の探究に強い意欲を持てる人
- ・ 急速な社会の変化と科学技術革新に対応する意欲を持つ人
- ・ 人間の諸活動と自然環境との調和に関心を持ち、研究目的と研究方法について独自に設定する意欲のある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（口述試験及び書類審査の結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験及び書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（口述試験及び書類審査の結果を総合して判定）